

公表 における自己評価結果

事業所名		公表日				
やすらぎの里北小岩もあ		2025 年 4 月 16 日				
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5			・利用児童の成長過程に合わせて、訓練室の使い方を検討していく必要がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1	1	・配置基準は満たしているが、さらなるサービス向上の為、増員が必要である。
	3	事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5			・その日の利用児童の特性に合わせて、必要な環境を整えている。 ・環境は整っているが、保護者や本人への伝え方に工夫が必要である。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1		・通所前後の時間に職員間で気を付けるべき点や振り返りを行い、支援内容の検討を行っている。
	5	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	2	・放デイは開設したばかりの為、今後実施していきたい
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	2	2	1	・放デイはこれからとなる
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		1	4	
	8	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5			・感染症対策研修、虐待防止研修、スキルアップ研修をおこなっている ・外部の研修にも参加したい ・重心児の遊び・摂食に関する研修を増やしたい
適切 な 支 援 の 提 供	9	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5			・利用開始前にアセスメントを行い、ニーズや課題を把握し、個別支援計画を作成している。
	10	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1		・個別に分析し取り組んでいる。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	2		・職員間の話し合いの時間が不足している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			・まだ開始したばかりで軌道にのっていない。今後工夫していきたい。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか。	2	3		・個々の疲労度を見て内容を変更している。
	14	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	1		・放デイ利用率が少なく、集団活動は難しく個別になってしまう。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1		・活動内容の共有はしているが不足している。 ・時間的にチーム全体での振り返りが難しい日がある。共有ツールを検討していきたい。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		5		・子どもたちの様子の共有はしている。
	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			・記録を行い、職員全員で共有している。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。		5		
	19	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	5			
	20	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。		5		
	22	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		5		
	23	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			
	24	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5			
	25	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5			
	26	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。			5	
	27	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。			5	
	28	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	29	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。			5	・ 需要があるため、今後行っていきたい
保護者への説明等	30	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			・ 契約時に運営規程、利用者負担について説明をしている。
	31	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			・ 面談・更新時に目標や支援内容について説明を行い、保護者の同意を得ている。
	32	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			・ 契約時に運営規程、利用者負担について説明をしている。
	33	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		5		
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	1	1	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5			
	38	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		1	
	39	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	1	1	・ 事業所としては行っているが、放デイ利用児童を含めた訓練を今後大になっていく。

非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		1	職員間での研修・話し合いはできているが、現在該当者なし
	42	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3		2	対象者なし
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		1	
	44	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	45	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1		